

事後調査報告書（工事の施行中その1）
－（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画－

調査項目 : 大気汚染、騒音・振
動、水質汚濁、土壌汚染、地盤、水循環、
生物・生態系（鳥類、水生生物）、廃棄物
環境影響評価書提出 : 平成28年2月8日
事後調査計画書提出 : 平成28年3月2日

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：国土交通省 関東地方整備局

代表者：局長 石原 康弘

所在地：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

2. 対象事業の名称及び種類

名 称：（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画

種 類：道路の新設

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、「10号地その2埋立地」から「中央防波堤内側埋立地」の約2.5kmの区間を結ぶ往復4車線道路として整備するものである。道路構造は大部分がトンネル構造であり、それ以外はスリット構造及び掘割構造である。

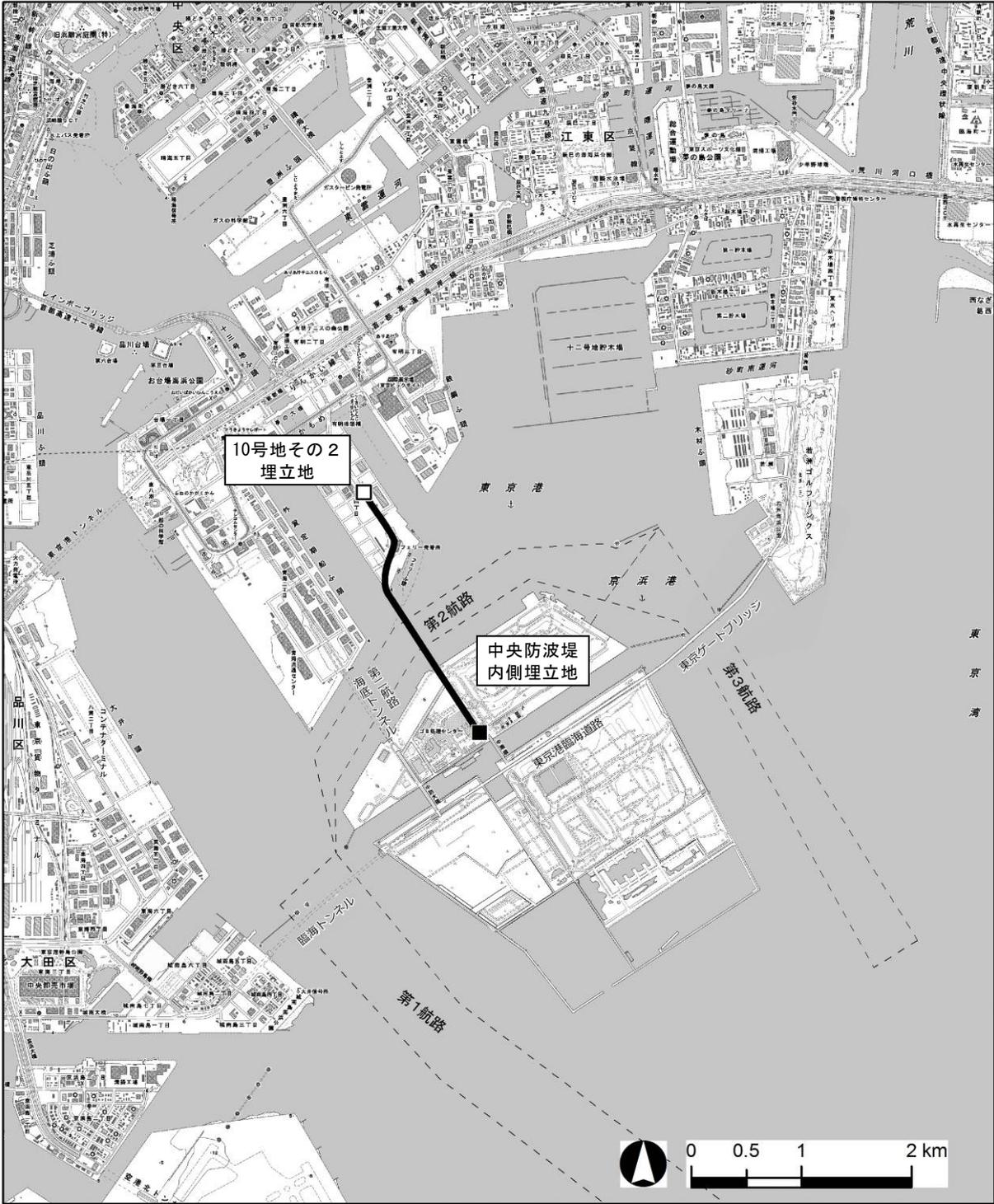
事業計画の概略は表3-1に示すとおりである。また、事業区域は図3-1、平面図・縦断面図は図3-2、構造別標準断面図は図3-3に示すとおりである。

表3-1 事業計画の概略

| 項目 | 計画の概要 |
|-----------|--|
| 計画道路名称 | (仮称) 東京港臨港道路南北線 |
| 延長及び区間 | 延長：約2.5km 起点：10号地その2埋立地（東京都江東区有明4丁目） 終点：中央防波堤内側埋立地 |
| 通過地域 | 江東区、中央防波堤内側埋立地 |
| 道路規格 | 第4種第1級 ^{注1} |
| 車線数 | 往復4車線 |
| 車線幅員 | 片側7.0m（路肩部を除く） |
| 設計速度 | 60km/時 |
| 道路構造 | トンネル構造：約1.6km 沈埋トンネル構造：約0.9km 開削トンネル構造：約0.6km 接続部構造：約0.1km スリット構造：約0.1km 掘割構造：約0.5km 平坦部：約0.2km 嵩上げ部：約0.1km |
| 主要交通網との交差 | 主要航路：第2航路 |
| 計画交通量 | 32,400台/日 |
| 事業予定期間 | 平成28年度～令和2年度（平成32年度） ^{注2} |
| 供用開始予定 | 令和2年（平成32年） |

注：1. 第4種第1級とは、「道路構造令」（昭和45年政令第320号）で定められた道路の区分である。

2. 令和元年以降の元号は、旧元号と併記した。



| 凡 例 | |
|---|------|
|  | 計画道路 |
|  | 起点 |
|  | 終点 |
|  | 航路 |

図3-1 事業区域

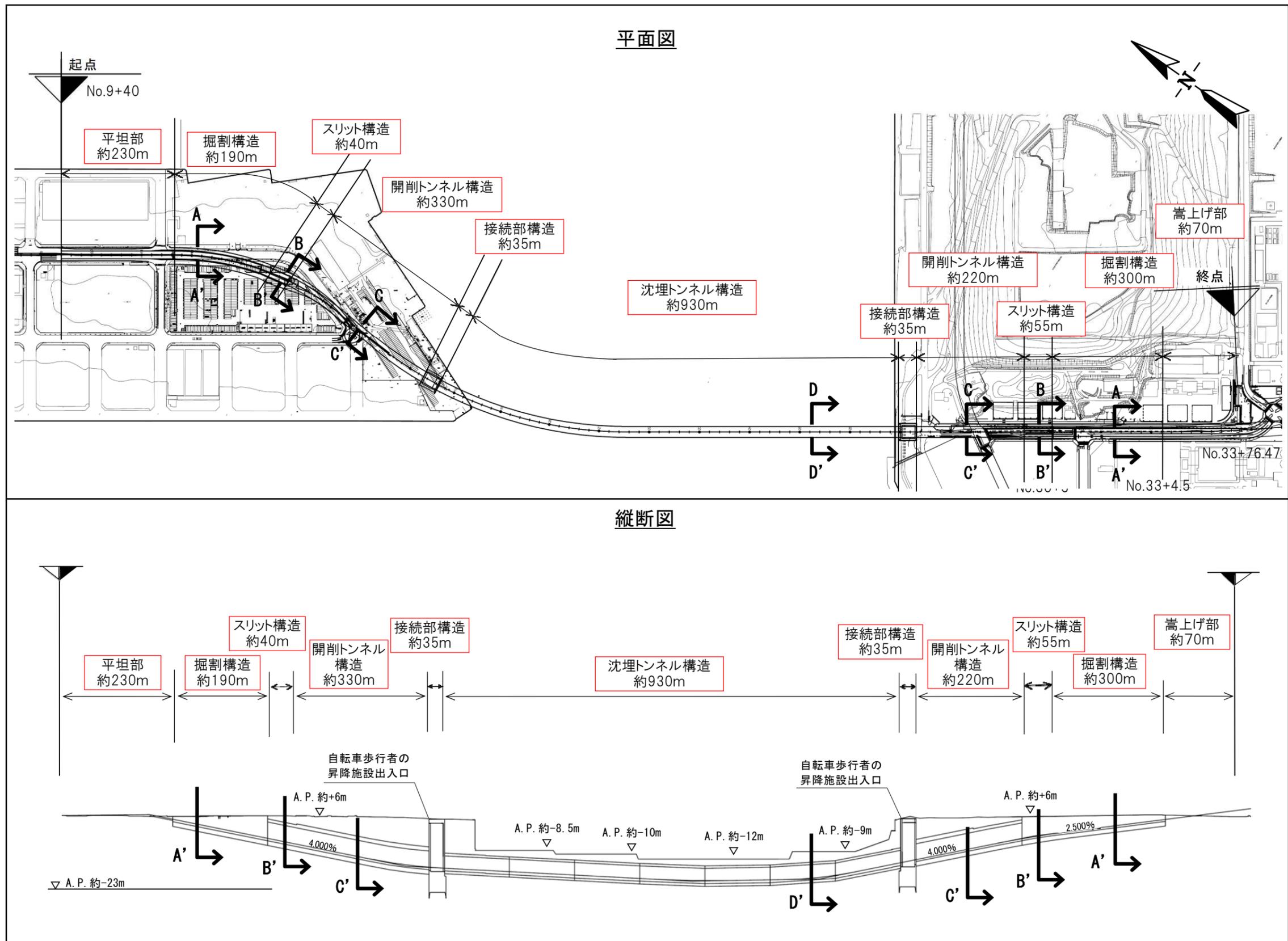
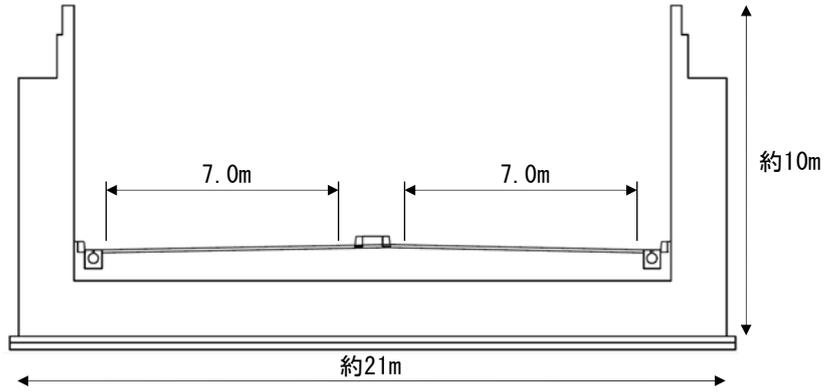
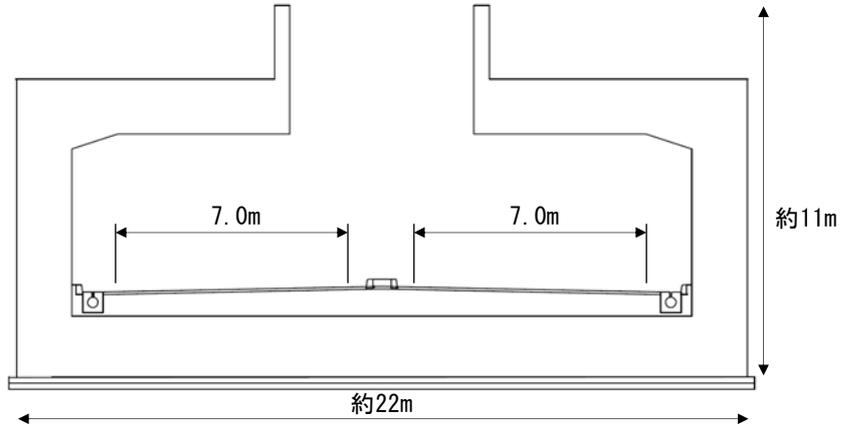


図3-2 平面図・縦断図

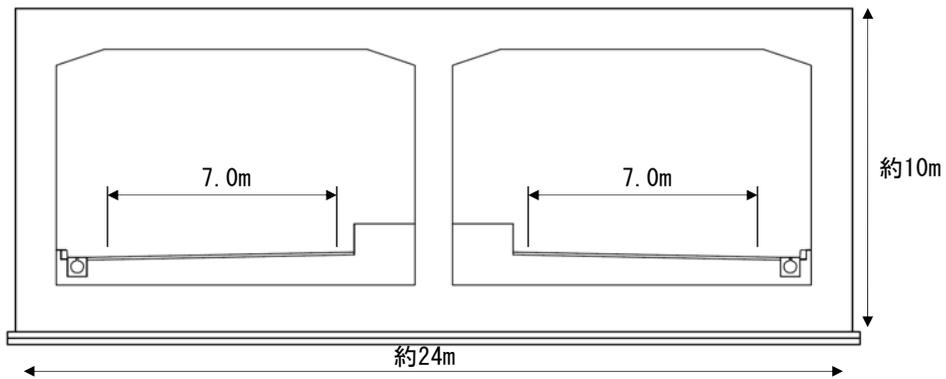
掘割構造断面図 (A-A')



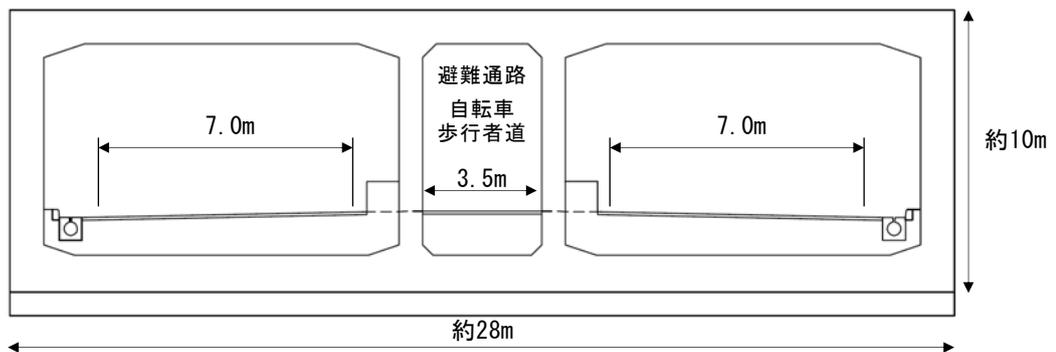
スリット構造断面図 (B-B')



開削トンネル構造断面図 (C-C')



沈埋トンネル構造断面図 (D-D')



注：各構造の断面位置は、図3-2の平面図に示す位置に対応する。

図3-3 構造別標準断面図